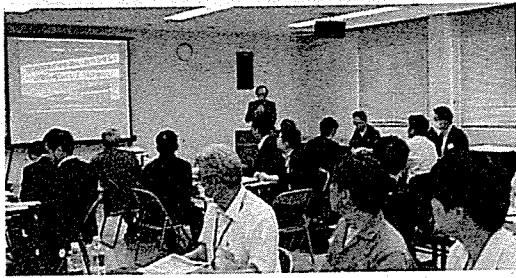


市会 中協 四国CN 脱炭素人材育成プログラム 「知る・測る・減らす」講演



(四国通信) 四国中央市
カーボンニュートラル協
議会はこのほど、市内の
愛媛県紙パルプ工業会館
で経営層向けの「脱炭素
人材育成プログラム」を
実施した(写真)。会員や
オブザーバーなど約六〇
人が参加。脱炭素を進め
る三つのプロセス「知る」
「測る」「減らす」について
本社と一大学が講演した。

本田展穂FUJIDA
N社長は脱炭素経営に
至った経緯を説明。得た
メリットとして、太陽光
発電で大規模災害時のB
CP(事業継続計画)対
策や停電時に蓄電池でパ
ワーコンディショナー稼
働、かがわ脱炭素取組大
賞受賞、脱炭素チャレン
ジカップ奨励賞受賞、取
引先からの評価アップ、
採用活動での応募者増加
などを挙げた。「炭素を出
さなければコスト削減に

つながる。最初から脱炭
素に取り組もうと思っただ
けではなく、結果オー
ライ型」と語った。

伊藤弘和愛媛大学紙産
業イノベーションセンタ
ー准教授は「脱炭素によ
る紙製品の価値創造」と
題し講演。紙産業で実現
可能な脱プラ技術(素材)
のうち、パルプ/プラス
チック複合材の製品化に
向けた取り組みについて
解説。排出量削減の事例紹
介や排出量算定の必要性・
方法などの講演もあった。

ワークデイスカシヨ
ンでは複数に分かれ、シナ
リオ企業(事業者・消費者
向け製品製造業者)に対す
るアクションプランを検
討。
次は従業員を対象にし
た講演やワークデイス
カシヨンを、十月と十二
月に計三回開催予定。